

科目名	人間と美術				
授業形態	講義	学年	1		
開講時期	2022年度 前期	単位数	2		
担当教員	渡邊 晃一				
内容および計画	<p>美術の「感動」は日常生活における様々な「ものの見方」とも関連している。本講義では現代における美術が人間に果たす役割を紹介する。</p> <p>「美術」「藝術」「Art」とは何か。今日の「美術」について、様々なトピックから紹介していく。</p> <p>地域（福島）の衣食住文化と現代アートとの関係、人間の発達段階（幼年教育や生涯学習、アール・ブリュット）、美術館や美術学校などの制度、身体表現や認識を変貌させたメディア表現（写真、映画、アニメーション、マンガなど）との関わりから提示する。</p>				
1	「美術」「藝術」とは何か				
2	衣・食・住とアート				
3	アートの歴史・近代と現代				
4	幼児の発達段階と「表現」				
5	映像メディア（視覚・聴覚・言語）				
6	写真と映画の誕生				
7	漫画とアニメーション				
8	身体動きと行為（アクション）				
9	抽象画の見方				
10	芸術を通しての教育				
11	芸術療法とアール・ブリュット				
12	都市・場とアートとの関わり				
13	生きている美術館				
14	現代美術の展望				
15	人間の「文化」と芸術				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	『モナ・リザの教科書』	渡邊 晃一	日本文教出版株式会社	9784536600651	2021
人間と「美術」との関係性を多角的に学びます。					
参考書	適時、配布資料を使用します。「絵画の教科書」日本文教出版、2010年を参考書としています。				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
	1、出席状況（欠席、遅刻はしないこと）				40
	2、毎回の授業への参加態度と授業内の成果からの総合的評価				20
	3、レポート（4回）				40
授業内容をより深く理解するため、予習、復習を行なうこと。					
学習到達目標	1. 授業内容に知的関心をもって、意欲的に取り組むことができる。				

	<p>2. 芸術諸活動に興味関心を持つことができる。</p> <p>3. 論理的に自身の考えをまとめ、計画的に創意工夫することができる。</p>
先修条件	
実務経験	
その他	<p>アート&デザイン、幼児教育、衣食住の「文化」に関わる人には是非、修得してほしいトピックを取り入れています。</p>